



三重県立看護大学  
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



# MCN REPORT

2022.12 vol.53



令和4年、<sup>みかん</sup>三看大は開学25周年を迎えました

## contents

開学 25 周年記念 .....	1・2
業務実績に関する評価結果 .....	3
TOPICS .....	4
大学の出来事 .....	5
連携協力協定機関紹介（三重県立一志病院） .....	6

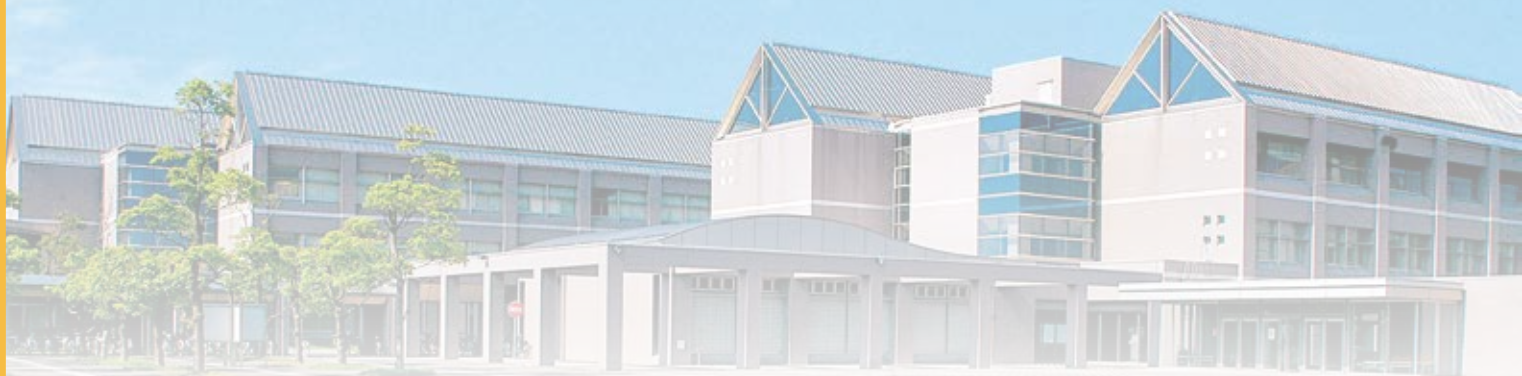


# 開学 25 周年記念



## 地域に根ざして4半世紀、新たなステージへ

本学は、三重県における看護教育・研究の中核機関として保健・医療・福祉の向上に寄与することをめざして、平成9年に県内初の看護大学として開学し、令和4年5月に25周年を迎えました。令和3年度までに本学を卒業・修了した学部生・大学院生は2,251名になります。また、社会に開かれた大学として教育・研究の成果を還元するため、地域交流センターを設置し、看護職者のキャリアアップ、スキルアップに資する事業や、県民の健康増進にかかる取り組みを実施してきました。これまでの25年間に於いては、県民の皆さまをはじめ、県内医療機関や自治体など、様々な方にご支援ご協力をいただきました。皆さまと共に築いた教育・研究・地域貢献の礎をより発展させていけるよう、これからも歩みを進めてまいります。



### 学長講演 「時代と共にある看護学」

9月2日（金）、開学25周年を記念して、片田範子学長が「時代と共にある看護学」をテーマに講演を行いました。当日は、本学の教職員のほか、連携協力協定締結病院など学外の関係者の方にも参加いただきました。

講演では、グローバルで持続可能な社会の実現が求められている現在、看護学やその教育にも様々な変化が求められ、大学として対応していく必要性について述べました。また、本学が地元創成のため行ってきた地域貢献活動を継続し、洗練していく必要があること、大学院において将来的に博士課程を設置することを検討する意義について述べ、本学が果たすべき役割や、進むべき未来像を示しました。



### 開学 25 周年に寄せて 三重県立看護大学同窓会長 岡根 利津 さん

創立25周年を迎えられることに心よりお祝い申し上げます。創立以降、2,000名を超える看護職者を輩出され、多くの卒業生が県内さらには国内外の医療機関や自治体等において活躍している現状を、一卒業生としてとても誇らしく思います。

この数年は、新型コロナウイルス感染症により、保健医療福祉の現場、また、教育機関においても多大な影響を受け、卒業生の皆さまも在学中の皆さまも社会や医療の著しい変化に対応しながら日々過ごされてきたことと思います。今回の経験を通して、改めて人とのつながりの大切さを実感された方も多いのではないのでしょうか。

在学中の出会いを機に、卒業後も続く幾重の縁。同窓会として、卒業生のつながりを支援できるよう努めていくとともに、三重県立看護大学の益々の発展をお祈り申し上げます。







# 25年間のあゆみ

- **平成 9 (1997) 年**    **4月**    ● 開学（開学式：5月8日）  
● 地域交流研究センター設置
- **平成 13 (2001) 年**    **4月**    ● 大学院看護学研究科開設  
**9月**    ● タイ王国マヒドン大学と学術交流協定を締結  
**11月**    ● 行幸啓 天皇皇后両陛下が本学を視察
- **平成 16 (2004) 年**    **3月**    ● 三重県立看護大学同窓会設立
- **平成 18 (2006) 年**    **3月**    ● 大学院専門看護師教育課程（精神看護学）認定
- **平成 21 (2009) 年**    **4月**    ● 地方独立行政法人化（公立大学法人 三重県立看護大学設立）  
● メディアコミュニケーションセンター設置  
● 地域交流センター設置（地域交流研究センターから名称変更）
- **平成 23 (2011) 年**    **7月**    ● 認定看護師教育課程「感染管理」開講（3年間）
- **平成 24 (2012) 年**    **5月**    ● 看護博物館の開館、「三重の看護史～昭和から平成への軌跡～」の発行
- **平成 25 (2013) 年**    **2月**    ● 三重県立こころの医療センターと連携協力協定を締結  
以後、11の医療機関及び2市と連携協力協定を締結（一覧はP6参照）  
**3月**    ● 大学院専門看護師教育課程（母性看護学）認定
- **平成 26 (2014) 年**    **8月**    ● 文部科学省「大学教育再生加速プログラム」採択（令和元年度まで）
- **平成 27 (2015) 年**    **11月**    ● 英国スコットランド グラスゴー大学と交換学生による交流協定を締結
- **平成 29 (2017) 年**    **6月**    ● 認定看護師教育課程「認知症看護」開講（4年間）
- **令和 2 (2020) 年**    **2月**    ● 大学院専門看護師教育課程（老年看護学）認定
- **令和 4 (2022) 年**    **5月**    ● 認定看護師教育課程（B課程）「感染管理」開講

## 開学 25 周年記念 第3回公開講座

**日時** 令和5年1月7日（土）13：10～14：40（予定）  
**場所** 三重県立看護大学 講堂  
**講師** 伊藤 智也 氏（バイエル薬品株式会社所属 車いすランナー）  
**講演** 「誇れる過去は、諦めない今がつくる」  
**定員** 先着 100 名（事前申込のみ）  
**申込** 12月22日（木）まで  
 詳しくは、本学ホームページでご確認ください。  
 定員になり次第締め切らせていただきます。



## 法人化記念植樹「みえ紀南1号」が今年も実を付けました

本学には、三重県立看護大学を略した「みかんだい」という愛称があります。キャンパスには、平成21年に地方独立行政法人化を記念し植樹されたみかんの木「みえ紀南1号」があり、毎年秋にたくさんの実を付けます。今年も10月から11月にかけて264個のみかんが収穫され、学生や教職員に振舞われました。





# 業務実績に関する評価結果

評価結果の詳細は、  
三重県 HP と本学 HP  
で公表しています



## 令和3年度の評価結果を報告します

本学は公立大学法人として、毎年度、三重県が設置する三重県公立大学法人評価委員会に業務実績についての評価を受けることとなっており、10月に令和3年度の業務実績に関する評価結果が公表されました。

評価は、項目別評価と全体評価で構成され、このうち全体評価では「年度計画を計画どおり遂行しており、全体として中期計画を順調に実施している」と評価されました。

今回の評価結果を活用し、教育、研究、社会・地域貢献等、大学運営の一層の充実に取り組みます。

### 項目別評価

項目名		評価
Ⅰ 大学の教育研究等の向上に関する項目	1 教育に関する項目	教育研究の特性に配慮すべき項目※
	2 研究に関する項目	
Ⅱ 社会・地域貢献に関する項目		A
Ⅲ 大学運営に係る環境整備に関する項目		A
Ⅳ 的確な業務運営の実施及び業務改善に関する項目		A
Ⅴ 財務内容の改善に関する項目		A
Ⅵ 大学教育の質保証及び情報の公開・発信に関する項目		A

S…特に優れた実績 A…順調に実施 B…概ね順調に実施 C…十分に実施していない

D…大幅な見直し、改善が必要

※教育研究の特性に配慮すべき項目についての評価は行われず、事業の外形的・客観的な進捗状況について確認され、年度計画を順調に実施していることが認められました。

## 地域交流センターから

### 9月15日(木)看護管理者意見交換会

地域に貢献する看護職者の育成と県内看護職者の支援を担う本学は、地域の医療機関のニーズを把握し連携を一層深めるため、毎年、看護管理者の意見交換会を開催しています。昨年、一昨年は COVID-19 の影響によりオンラインでの開催となりましたが、今年度は3年ぶりに本学で開催し、県内20の病院・訪問看護ステーションの管理者の皆さまにご参集いただきました。

- 三重県医療保健部医療政策総括監 杉本匡史氏

「三重県における医療の現状と看護への期待」

COVID-19の最新情報や課題

- 学長講話「時代と共にある看護学」

- 情報提供「本学の入試制度について」

- 意見交換会

「コロナ禍における異文化背景をもつ患者及び家族への対応」

令和7年度学部入試から新設する【多言語多文化選抜】に関する情報提供後、各施設の現状や課題等を共有していただきました。



### 認定看護師教育課程（B 課程）「感染管理」 令和5年度入学生募集

令和4年度から本学（地域交流センター）と特定行為研修指定医療機関（三重大学医学部附属病院）が共同して開講している認定看護師教育課程（B 課程）「感染管理」において、令和5年度の入学生を募集します。感染管理領域において、高度で専門的かつ質の高い看護を提供できる人材の育成をめざします。

詳しくは、本学ホームページでご確認ください。

募集人員 20名 出願期間 令和5年1月10日（火）～1月23日（月） 試験日 令和5年2月13日（月）



## 看護×国際交流プログラム

本学は、人々の健康をグローバルな視点で捉えることができる人材を育成するため、令和4年度入学生から適用される新カリキュラムでは国際看護学を必修科目としているほか、自由科目として国際看護実習を設けています。今年度は、コロナ禍により、海外で実習を行う国際看護実習は実施できませんでしたが、大学にしながら国際交流の体験ができるよう「看護×国際交流プログラム」を実施しました。

### 7月22日(金) 医療現場における英語でのコミュニケーションの現状と課題

#### ～在日外国人の日本での入院経験から学ぼう～

三重県内の病院での入院経験を持つ在日外国人を講師として招き、入院時の体験に基づき「病院英語」及び「看護英語コミュニケーション」の現状と課題についてお話しいただきました。

参加した学生は、英語で発表や質問をするなど、積極的にネイティブスピーカーとコミュニケーションをとっていました。参加者からは、「外国人の方にとって好ましい表現などを知ることができた」という声があり、今後の学びに活かす貴重な機会となりました。



### 10月～12月 ハロウィーン&クリスマス企画

学生の国際交流への関心を高めることを目的として、異文化や外国語を身近に感じられるよう、ハロウィーン&クリスマス企画を実施しました。

ハロウィーンには、お化けなどのイラストを添えて、学生が行きたい国や好きな言葉を英語で書き、学内の特別ブースに貼り付けていました。また、クリスマスには、「大切な人へ贈りたいメッセージ」をテーマにそれぞれの思いを英語で表現しました。

学生たちは、自分が書いた内容と他の学生が書いた内容を見比べながら楽しむ様子が見られました。



## 第2回公開講座について

10月29日(土)、村山洋史氏(東京都健康長寿医療センター研究所・社会参加と地域保健研究チーム・研究副部長)を講師に迎え、「つながりと健康格差：コロナ禍であらためて考えるつながりの大切さ」をテーマに公開講座を開催しました。

感染防止対策のため参加人数を制限しましたが、74名の県民の皆さまにご参加いただきました。参加者からは、「人とのつながりが生きていくうえでとても重要なことを、具体的にデータや事例を通して説明していただき、理解が深まりました」などの感想があり、大変好評でした。



## FD 講演会

11月9日(水)、『大学院進学のスズメ』をテーマに、FD講演会を開催しました。

佐々木菜名代氏(浜松医科大学医学部附属病院副院長兼看護部長)を講師に迎え、大学院進学の意味やキャリア形成、大学院での学びと臨床での結びつきなどについてご自身のご経験を基にお話しいただきました。

参加者からは、「具体的に大学院進学が臨床にどう役立つかが分かった」「今後の大学院教育の参考となった」「大学の経営や組織運営など多岐に渡って有意義なお話が聞けた」などといった感想があり、大変有意義な講演会となりました。





## 教育懇談会

9月3日（土）、保護者を対象とした教育懇談会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインでの開催となりましたが、大平学部長から本学での学びの様子などについて説明の後、個別のオンライン相談を実施しました。

個別相談では、コロナ禍における講義・実習の状況や、進路に関する悩みなどの相談を教員が受けました。

参加者からは、「学生生活の様子がイメージできた」「大学に出向く機会がなかったので、教員と直接話すことができよかった」といった感想をいただきました。

## 大学院前期修了式

9月16日（金）、令和4年度前期大学院看護学研究科修了式を挙行了しました。

4名の修了生は、授業や実習、研究などにおいて、新型コロナウイルス感染症による様々な影響を乗り越え、学位を取得しました。

修了生代表による謝辞では、「今日は終わりではなく、本看護学研究科で得た学びをさらに自己研鑽しながら看護実践の場に繋ぐための始まりであると、改めて身が引き締まる思いで、看護に尽力していきたいと考えています」と次のステージへの決意も述べられました。

教職員一同、修了生の皆さんの更なるご活躍を願っています。



## ボランティア活動報告会

学生ボランティア活動支援委員会では、毎年11月にボランティア活動報告会を開催しています。今年度は11月10日（木）から3月31日（金）までの期間、ポスターを掲示します。

ポスターでは、LINKtopos2022（リンクトポス：全国公立大学学生大会）へ参加した学生からの報告や、ボランティアを経験した学生からの「ひとことコメント」の発表がありました。

学生の皆さんがボランティアを身近に感じ、ボランティア活動により一層興味をもってくれるきっかけとなることを願っています。



## 防災展示会

地域交流センター教員提案事業「私たちに今できる災害の備え」では、本学の学生に向けた災害に関する啓発イベントを行っています。

11月1日（火）から11月11日（金）までの期間、学生ホールにて、段ボールベッド、段ボールトイレ、ポータブル充電器、災害備蓄品といった防災関連物品を展示しました。

展示会に訪れた学生からは、「災害に備えるために、家庭では何を準備しておいたらよいか具体的に知ることができ、防災意識が高まった」といった声がありました。



### さらなる発展と人材育成の充実に向けて ～学生支援のための基金への寄付のお願い～

本学では、経済的な理由により修学が困難な学生を支援することを目的として、「公立大学法人三重県立看護大学修学支援基金」を開学20周年の契機に設立しました。

基金設立5年を迎えた現在までに、総額約817万円ものご寄付を賜り厚く御礼申し上げます。今後も学生への継続的な修学支援を行いたいと考えておりますので、引き続き、本基金へのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

#### 令和4年度活動実績

「みかん大進学支援給付金制度（返済不要の入学時奨学給付）」として、5名に20万円、総額100万円を支給。

（基金設立後支援総額 約496万円）



## 三重県立 一志病院

### プライマリケアエキスパートナースとなり、 住民から信頼される看護師になる



当院はビジョンとして「安心してこの地域で生活し続けられる医療を提供し、全国の医療過疎を解決する病院のモデルになります」を掲げ、総合的な医療（家庭医療）を実施するとともに地域の在宅療養を支援するため、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション・訪問栄養指導・訪問薬剤指導を提供しています。

看護部のビジョンは「プライマリケアエキスパートナースとなり、住民から信頼される看護師になる」ことです。プライマリケアエキスパートナースとは、身近にあって何でも相談にのれる総合的な看護を提供し、地域を大切にすることをもちながら、地域に貢献できる高度な知識・技術・態度を習得した看護師をいいます。地域の介護施設・クリニック等で勤務する看護師との連携、また保健や福祉の領域の他職種の方々と連携し地域包括ケアシステムのなかでリーダーシップがとれる看護師をめざしています。

また、連携病院として総合実習や地域在宅看護学の臨地実習場として活用いただいております。三重県立看護大学・同大学院を卒業した先輩たちも活躍しています。

#### 病院情報

三重県立一志病院（昭和23年11月開設）

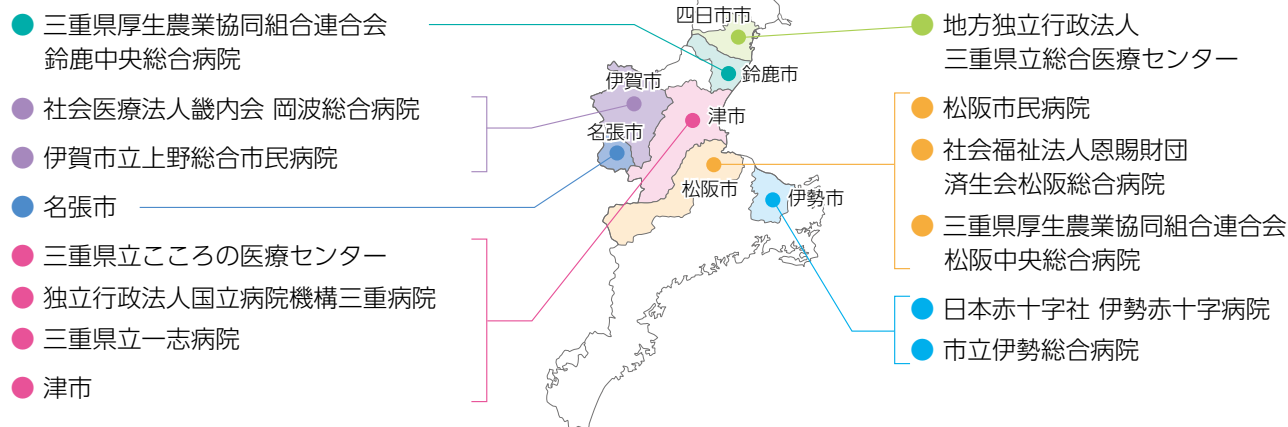
- 病床数：82床（一般病床46床、療養型病床群36床）  
療養病床は現在休床しています
- 診療科目：内科、外科、眼科
- 職員数：職員数75人（うち看護師40人） 令和4年10月1日現在



病院スタッフによるイベント「一志病院まつり」

## 連携協力協定機関一覧

### 県内12病院・2市





# 看護師 募集中

Recruit

募集事業所

病院  
介護老人保健施設  
特別養護老人ホーム  
デイサービスセンター

「豊和病院は三重県から  
「女性が働きやすい医療機関」  
に認証されています」

YouTube  
チャンネル登録者 **8200 OVER**  
QRコードからホームページをチェック



三重県の志摩市、鳥羽市、伊勢市で14施設27事業所を運営しています



豊和グループ



〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方2555-1  
TEL 0599-43-9711 HP <https://howagroup.jp>

手で触れて、みて、考える看護の実践  
“看護の基本に忠実で、  
心のこもった看護を提供します”

「技術が生かせる楽しい職場!!」  
看護師  
募集



伊賀市立  
上野総合市民病院

〒518-0823 三重県伊賀市四十九町 831 番地  
☎ 0595-24-1111 ☎ 0595-24-2268  
✉ [kango@iga-med.jp](mailto:kango@iga-med.jp) 🌐 <https://www.cgh-iga.jp/nurse/>



私たちと一緒に、学び・成長しませんか？

広告



松阪市民病院 看護部  
松阪市殿町 1550  
代)0598-23-1515



本学マスコットキャラクター  
「みかんちゃん」  
三重県立看護大学の略「三看大（みかん  
だい）」の「みかん」に学生たちが持つ「優  
しさ」をイメージした大学キャラクター  
です。平成21年の法人化を機に学内か  
らの公募で選ばれ活躍しています。

## 公立大学法人 三重県立看護大学

〒514-0116  
三重県津市夢が丘1丁目1番地1  
TEL 059-233-5600(代)  
FAX 059-233-5666  
<https://www.mcn.ac.jp/>



本学は、「大学基準協会」の定め  
る大学基準及び「日本看護学教  
育評価機構」の看護学教育評価  
において「適合」の認定を受け、  
大学及び看護学教育の質につい  
て保証されています。